

平成22年5月期 第3四半期決算短信

平成22年3月26日

上場取引所 東

上場会社名 日本化薬株式会社

コード番号 4272 URL <http://www.nipponkayaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島田 紘一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ管理本部 経理部長 (氏名) 荒木 良一

TEL 03-3237-5270

四半期報告書提出予定日 平成22年4月8日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年5月期第3四半期の連結業績(平成21年6月1日～平成22年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第3四半期	103,876	1.7	11,699	44.4	11,618	76.6	7,220	308.1
21年5月期第3四半期	102,114	—	8,100	—	6,579	—	1,769	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期第3四半期	39.78	39.77
21年5月期第3四半期	9.74	9.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期第3四半期	206,690	125,030	57.0	648.92
21年5月期	203,998	125,812	56.0	629.12

(参考) 自己資本 22年5月期第3四半期 117,744百万円 21年5月期 114,206百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年5月期	—	10.00	—	10.00	20.00
22年5月期	—	10.00	—	—	—
22年5月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年5月期の連結業績予想(平成21年6月1日～平成22年5月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	4.2	14,000	49.5	13,300	64.8	9,400	152.8	51.79

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年5月期第3四半期 | 182,503,570株 | 21年5月期 | 182,503,570株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年5月期第3四半期 | 1,055,821株 | 21年5月期 | 968,665株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年5月期第3四半期 | 181,498,536株 | 21年5月期第3四半期 | 181,580,084株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、5ページの【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成21年6月1日から平成22年2月28日まで）のわが国経済は、各国の景気刺激策の効果により、自動車、フラットパネルディスプレイ等の内需及び輸出が回復し、経済状況が底入れしつつあります。しかしながら、需給ギャップによるデフレの進行や景気刺激策の反動及び円高が懸念されるように、景気の先行きが不透明な状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループでは、海外展開に加え、事業の効率化、新製品の開発及び事業化に鋭意取り組みました。

機能化学品事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年四半期並みに推移しましたが、電気・電子機器、半導体産業における需要が回復基調にあることや、一層のコストダウンの推進、販売品目の整理、生産拠点の最適化等を進めた結果、収益が大きく回復しました。

医薬事業は、ジェネリック抗がん剤が伸長し、堅調な業績で推移する中、高分子ミセル化抗がん剤の臨床試験用原薬製造設備の建設に着手し、新薬創生を加速しております。

セイフティシステムズ事業では、世界各国での減税等による自動車販売奨励策の効果と、中国をはじめとする新興国での需要拡大により、当第3四半期連結累計期間の業績は、前年同四半期に比べ改善しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,038億7千6百万円と前年同四半期に比べ17億6千2百万円(1.7%)増加しました。

営業利益は、機能化学品事業の原価低減等により、116億9千9百万円と前年同四半期に比べ35億9千8百万円(44.4%)増加しました。

経常利益は、為替差損が縮小し、116億1千8百万円と前年同四半期に比べ50億3千9百万円(76.6%)増加しました。

また、1月に発表しました米国子会社ライフスパーク, Inc. の解散の決議に伴い、特別損失を29億円計上しましたが、貸倒引当金等に対して繰延税金資産を認識することにより法人税等調整額△47億円を計上し、四半期純利益は、72億2千万円と前年同四半期に比べ54億5千1百万円(308.1%)増加しました。

当第3四半期連結累計期間における事業の種類別セグメントの概況は、次のとおりです。

【機能化学品事業】

売上高は、475億9千6百万円と前年同四半期に比べ8億1百万円(1.7%)減少しました。

機能性材料事業は、半導体封止材用エポキシ樹脂が環境対応型を中心に需要が回復し、前年同四半期を上回りました。紫外線硬化型樹脂も堅調に推移しました。機能性材料事業全体では前年同四半期を上回りました。

電子情報材料事業は、液晶シール材が前年同四半期を上回りました。光ディスク用樹脂、インクジェットプリンター用色素は前年同四半期並みに推移しました。プラズマディスプレイ用フィルムは前年同四半期を下回りました。㈱ポラテクノは昨年夏頃から回復基調にあるものの、前年同四半期を下回りました。電子情報材料事業全体では前年同四半期を下回りました。

触媒事業は、前年同四半期を下回りました。

色材事業は、繊維用染料及び紙用染料ともに、前年同四半期を下回りました。

機能化学品事業全体での売上は前年同四半期を下回りましたが、営業利益は、62億5千1百万円となり、前年同四半期に比べ22億8千8百万円(57.7%)増加しました。

【医薬事業】

売上高は、361億7千5百万円と前年同四半期に比べ25億5千万円(7.6%)増加しました。

国内向け製剤は、5月に上市した「ピカルタミド錠NK」（抗がん剤）が売上に寄与し、「パクリタキセル注NK」（抗がん剤）、「グラニセトン静注液NK」（制吐剤）、「カルボプラチン点滴静注液NK」（抗がん剤）、「エピルビシン注射用NK」（抗がん剤）、「レボホリナート点滴静注用NK」（抗がん剤の効果増強剤）、「ジェルパート」（肝動脈塞栓材）が堅調に推移し、前年同四半期を上回りました。一方、「ランダ注」（抗がん剤）、「ミリスロール注」（血管拡張剤）が競合品等の影響により、前年同四半期を下回

りました。国内向け製剤全体では前年同四半期を上回りました。

輸出は、ブレオ類（抗がん剤）、エトポシド類（抗がん剤）が前年同四半期を下回り、輸出全体で前年同四半期を下回りました。

国内向け原薬は、前年同四半期を下回りました。

診断薬は「ラナ1,5AG」（糖尿病診断薬）が堅調に推移し、診断薬全体で前年同四半期を上回りました。

医薬事業全体の営業利益は、73億8千2百万円となり、前年同四半期に比べ5億6千万円(8.2%)増加しました。

【セイフティシステムズ事業】

売上高は、130億1千2百万円と前年同四半期に比べ11億3千3百万円(9.5%)増加しました。

シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータ、エアバッグ用インフレーターは、前年同四半期を上回りました。

セイフティシステムズ事業全体の営業利益は、3千7百万円となり、前年同四半期に比べ7億1千9百万円改善しました。

【その他事業】

売上高は、70億9千1百万円と前年同四半期に比べ11億2千万円(13.6%)減少しました。

アグロ事業は、国内・輸出ともに前年同四半期を下回りました。

不動産事業他は、前年同四半期を下回りました。

その他事業全体の営業利益は、アグロ事業の収益体質が改善したことなどにより、17億7千2百万円となり、前年同四半期に比べ1億3千3百万円(8.1%)増加しました。

当第3四半期連結累計期間における所在地別セグメントの概況は、次のとおりです。

【日本】

売上高は900億1千1百万円となり、前年同四半期に比べ13億7千万円(1.5%)増加しました。

営業利益は149億4千万円となり、前年同四半期に比べ42億6千3百万円(39.9%)増加しました。

【その他の地域】

売上高は138億6千5百万円となり、前年同四半期に比べ3億9千2百万円(2.9%)増加しました。これは、化薬化工（無錫）有限公司（中国）等の売上高が増加したことに加え、当第3四半期からカヤク・セイフティシステムズ・デ・メキシコ, S.A. de C.V.（メキシコ）が製品出荷を開始したことにより売上高に寄与したことによるものです。

営業利益は5億6千1百万円となり、前年同四半期に比べ5億1千2百万円(47.7%)減少しました。

これは、主にモクステック, Inc.（アメリカ）、カヤク・セイフティシステムズ・デ・メキシコ, S.A. de C.V.（メキシコ）等の営業利益が減少したことによるものです。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は2,066億9千万円となり、前連結会計年度末に比べ26億9千1百万円増加しました。流動資産は73億4千万円増加しました。これは主に営業債権及びたな卸資産等の増加によるものです。固定資産は46億4千8百万円減少しました。これは主に有形固定資産及び投資有価証券の減少によるものです。

負債は816億6千万円となり、前連結会計年度末に比べ34億7千3百万円増加しました。これは主に営業債務の増加によるものです。

純資産は1,250億3千万円で、前連結会計年度末に比べ7億8千2百万円減少しました。これは主に利益剰余金は増加しましたが、少数株主持分が減少したことによるものです。

また、当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ7千8百万円減少し、

349億8千3百万円（前年同四半期は247億8千7百万円）となりました。各キャッシュ・フローの状況については、次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、117億3千9百万円の収入（前年同四半期は98億6千9百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が67億6千9百万円、減価償却費が74億9千6百万円、減損損失が23億8千5百万円、仕入債務の増加が63億3千3百万円あったものの、売上債権の増加が57億1千3百万円、たな卸資産の増加が25億1千万円あったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、43億3百万円の支出（前年同四半期は65億9千6百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が44億8千1百万円あったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、73億2千5百万円の支出（前年同四半期は1億2千6百万円の支出）となりました。これは主に長期借入れによる収入が15億円あったものの、長期借入金の返済による支出が24億6千7百万円、子会社の自己株式の取得による支出が34億4千3百万円、配当金の支払額が35億4千3百万円、建設協力金の返済による支出が7億3千9百万円あったことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の当社グループを取り巻く経営環境は回復基調にあるものの、依然として先行きが不透明であり、予断を許さない状況にあります。当社グループは事業環境の変化に対応できる強固な収益体質を構築するとともに、環境・省エネルギー等の新たな成長市場への展開を加速させ、収益の拡大を図ってまいります。なお、第3四半期以降の為替レートは、1米ドル 95円を想定しております。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,765	16,529
受取手形及び売掛金	49,653	44,008
有価証券	8,341	18,626
商品及び製品	17,113	15,031
仕掛品	1,906	1,554
原材料及び貯蔵品	6,881	6,917
その他	5,555	6,184
貸倒引当金	△147	△123
流動資産合計	116,069	108,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,200	32,568
機械装置及び運搬具(純額)	16,609	19,844
その他(純額)	13,095	15,145
有形固定資産合計	61,906	67,557
無形固定資産		
のれん	1,929	2,112
その他	2,511	2,906
無形固定資産合計	4,441	5,018
投資その他の資産		
投資有価証券	14,285	15,329
その他	9,670	7,058
貸倒引当金	△111	△124
投資その他の資産合計	23,844	22,264
固定資産合計	90,192	94,840
繰延資産	428	428
資産合計	206,690	203,998
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,458	12,201
短期借入金	15,013	13,304
未払法人税等	2,202	3,072
その他	12,058	13,192
流動負債合計	47,732	41,772
固定負債		
長期借入金	14,562	15,968
退職給付引当金	4,721	5,039
負ののれん	682	—
その他	13,961	15,406
固定負債合計	33,928	36,414
負債合計	81,660	78,186

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,932	14,932
資本剰余金	17,264	17,263
利益剰余金	85,963	82,373
自己株式	△692	△623
株主資本合計	117,468	113,946
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	328	45
為替換算調整勘定	△52	214
評価・換算差額等合計	276	260
少数株主持分	7,285	11,605
純資産合計	125,030	125,812
負債純資産合計	206,690	203,998

(2) 四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成21年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日)
売上高	102,114	103,876
売上原価	65,970	62,585
売上総利益	36,144	41,291
販売費及び一般管理費	28,043	29,591
営業利益	8,100	11,699
営業外収益		
受取利息	175	117
受取配当金	328	303
負ののれん償却額	—	77
持分法による投資利益	380	113
その他	804	612
営業外収益合計	1,688	1,224
営業外費用		
支払利息	342	374
為替差損	2,329	562
その他	538	367
営業外費用合計	3,210	1,304
経常利益	6,579	11,618
特別利益		
固定資産売却益	617	38
関係会社株式売却益	1,679	—
特別利益合計	2,296	38
特別損失		
固定資産処分損	802	302
減損損失	—	2,385
投資有価証券評価損	2,057	1,628
関係会社整理損失引当金繰入額	—	571
貸倒引当金繰入額	18	—
関係会社株式評価損	2,028	—
たな卸資産評価損	505	—
特別損失合計	5,411	4,888
税金等調整前四半期純利益	3,464	6,769
法人税、住民税及び事業税	3,026	4,031
法人税等調整額	△1,137	△4,785
法人税等合計	1,888	△753
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△193	301
四半期純利益	1,769	7,220

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成21年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,464	6,769
減価償却費	7,857	7,496
減損損失	—	2,385
引当金の増減額(△は減少)	784	263
受取利息及び受取配当金	△503	△420
支払利息	342	374
為替差損益(△は益)	1,980	—
持分法による投資損益(△は益)	△380	△113
有形固定資産売却損益(△は益)	△617	△38
有形固定資産処分損益(△は益)	802	302
投資有価証券評価損益(△は益)	2,057	1,628
関係会社株式売却損益(△は益)	△1,679	—
関係会社株式評価損	2,028	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,256	△5,713
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,213	△2,510
前払費用の増減額(△は増加)	△4	△250
未収入金の増減額(△は増加)	1,188	211
仕入債務の増減額(△は減少)	△662	6,333
未払金の増減額(△は減少)	△608	△357
未払費用の増減額(△は減少)	△1,871	△1,183
その他	△645	954
小計	12,576	16,131
利息及び配当金の受取額	521	444
利息の支払額	△296	△321
法人税等の支払額	△2,932	△4,847
法人税等の還付額	—	332
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,869	11,739
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△52	△120
定期預金の払戻による収入	373	96
有形固定資産の取得による支出	△7,294	△4,481
有形固定資産の売却による収入	680	125
無形固定資産の取得による支出	△162	△67
有価証券の取得による支出	△199	△1,499
有価証券の償還による収入	—	1,499
投資有価証券の取得による支出	△984	△47
投資有価証券の売却による収入	508	—
関係会社株式の売却による収入	837	800
長期貸付けによる支出	△30	—
長期前払費用の取得による支出	△86	△62
固定資産撤去に伴う支出	△274	△156
子会社株式の取得による支出	—	△229
短期貸付金の増減額(△は増加)	△80	△125
その他	166	△33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,596	△4,303

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成21年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
子会社の自己株式の取得による支出	—	△3,443
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,603	1,661
長期借入れによる収入	233	1,500
長期借入金の返済による支出	△2,888	△2,467
建設協力金の返済による支出	△175	△739
配当金の支払額	△3,520	△3,543
少数株主への配当金の支払額	△341	△195
その他	△36	△98
財務活動によるキャッシュ・フロー	△126	△7,325
現金及び現金同等物に係る換算差額	△784	△188
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,362	△78
現金及び現金同等物の期首残高	21,662	35,061
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額 (△は減少)	762	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,787	34,983

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成21年2月28日）

	機能化学品 事業 (百万円)	医薬 事業 (百万円)	セイフティ システムズ 事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	48,397	33,624	11,879	8,212	102,114	—	102,114
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	65	22	—	17	105	(105)	—
計	48,463	33,647	11,879	8,229	102,219	(105)	102,114
営業利益又は営業損失(△)	3,963	6,822	△682	1,639	11,742	(3,642)	8,100

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日）

	機能化学品 事業 (百万円)	医薬 事業 (百万円)	セイフティ システムズ 事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	47,596	36,175	13,012	7,091	103,876	—	103,876
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	40	12	—	20	72	(72)	—
計	47,636	36,187	13,012	7,111	103,949	(72)	103,876
営業利益	6,251	7,382	37	1,772	15,444	(3,745)	11,699

(注) 1 事業の区分は、売上集計区分によっております。

2 事業区分に属する主要な製品

事業区分	売上区分	主要製品
機能化学品事業	機能性材料	エポキシ樹脂、エポキシ樹脂用硬化剤、合成樹脂用難燃剤、紫外線硬化型樹脂、ポリイミド・ポリアミド樹脂、高機能化学品
	電子情報材料	液晶ディスプレイ用部材、液晶プロジェクタ用部材、X線分析装置部材、機能性フィルム、光ディスク用樹脂、液晶ディスプレイ用シール材、機能性色素、インクジェットプリンター用色素
	触媒	アクリル酸製造用触媒、メタクリル酸製造用触媒、プラントライセンスビジネス
	色材	分散染料、カチオン染料、酸性染料、反応染料、直接染料、硫化染料、蛍光染料、繊維・紙用機能性薬剤、非繊維用特殊色材
医薬事業	医薬品	抗悪性腫瘍剤、神経系薬剤、循環器用薬剤、消化器用薬剤、代謝性薬剤、抗生物質製剤、消炎鎮痛パップ剤、放射性医薬品、医療機器、医薬原薬・中間体、食品・食品添加物、食品品質保持剤、動物用医薬品、飼料・飼料添加物、診断薬
セイフティシステムズ事業	セイフティシステムズ事業	エアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクログスジェネレーター、スクイブ
その他事業	その他	殺虫剤、除草剤、殺菌剤、殺ダニ剤、防疫用殺虫剤、土壌殺菌剤、動物忌避剤、生物農薬、不動産事業

b. 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自平成20年6月1日至平成21年2月28日)

	日本 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	88,641	13,472	102,114	—	102,114
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,201	5,014	9,216	(9,216)	—
計	92,843	18,487	111,330	(9,216)	102,114
営業利益	10,676	1,074	11,750	(3,650)	8,100

当第3四半期連結累計期間(自平成21年6月1日至平成22年2月28日)

	日本 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	90,011	13,865	103,876	—	103,876
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,223	4,155	8,378	(8,378)	—
計	94,234	18,020	112,254	(8,378)	103,876
営業利益	14,940	561	15,501	(3,802)	11,699

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域

その他の地域・・・アメリカ、チェコ、香港、中国

c. 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自平成20年6月1日至平成21年2月28日)

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	20,521	13,887	34,408
II 連結売上高(百万円)	—	—	102,114
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合(%)	20.1	13.6	33.7

当第3四半期連結累計期間(自平成21年6月1日至平成22年2月28日)

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	21,493	13,134	34,628
II 連結売上高(百万円)	—	—	103,876
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合(%)	20.7	12.6	33.3

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・・・中国、香港、台湾

(2) その他の地域・・・アメリカ、ドイツ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。